

序 文

「第2種 ME 技術実力検定試験」は、「医用生体工学技術を応用した機器・システムの安全管理を中心とした医用生体工学に関する知識をもち、適切な指導者のもとで、これを実際に医療に応用し得る資質」を検定することを目的に、(公社)日本生体医工学会(旧・日本エム・イー学会)が昭和54年から実施している実力検定試験です。

この試験は、医用生体工学に関係した職種に就いている医療従事者や医療機器メーカー関係者、教育・研究者などの実力を公的に適正に評価するシステムとして、この分野に受け入れられ定着しています。

また、これらを志向している学生にとってはその学習に目標を与え、かつ学習の効果測定の手段として本試験は広く活用されてきました。特に臨床工学技士養成学校の学生には、国家試験準備のためのレベルの高い実力試験として認識されており、毎年多くの学生が受験しています。

そこで、第2種 ME 技術実力検定試験問題研究会では、今後受験を検討している方々の受験勉強の用に供することを目的に、独自の研究により、その全問の解答および解説を企画し、(株)Gakken 発行の月刊誌『クリニカルエンジニアリング』に掲載してきました。

今回、最新の問題も含めて、過去5年間(第39回～第43回)の問題の解答・解説をまとめて、若干の修正を加えて発行することにしました。今後の「第2種 ME 技術実力検定試験」の受験勉強に活用していただければ幸いです。

なお、本書は(公社)日本生体医工学会とは無関係であり、この解答および解説は、本研究会が独自で研究検討した結果ですので、本書およびその内容に関して、(公社)日本生体医工学会および『クリニカルエンジニアリング』誌編集委員会などへの問い合わせは、ご遠慮ください。また、この解答・解説を利用した場合に、利用者がいかなる不利益を被っても当研究会は一切の責任を負わないことをあらかじめお断りしておきます。

2023年3月

第2種 ME 技術実力検定試験問題研究会